

日本体育大学

Nippon Sport Science University

ADMISSION GUIDE 2026

入 試 ガ イ ド 2 0 2 6

INDEX

- 01 令和8年度入学者選抜対策のポイント
- 02 入学定員及び募集人員
- 03 総合型選抜
- 09 学校推薦型選抜
- 11 一般選抜
- 13 特別選抜
- 15 各学部が定める3つの方針
- 20 2025年度入試データ



令和8年度入学者選抜対策のポイント

Case.1 面接・プレゼンテーション対策

総合型選抜や学校推薦型選抜は自身の意欲や熱意をアピールする選抜です。各選抜の試験科目の対策を進めるにおいても志望学科・コースの特色をしっかりと理解した上で、対策を進めないといけません。そこで、皆さんが志望学部・学科・コースのことをより深く知れる方法を紹介します。

オープンキャンパスに参加しよう

▶「日本体育大学」について理解を深めたいなら

●**大学紹介「日体大ってどんな大学？」**各学部の特徴や講義内容など、日本体育大学がどんな大学なのかを具体的に細かく紹介します。開催日ごとに重点学部が設定されているときもあるので、ホームページを事前にチェックしておきましょう。

●**日体大キャンパスツアー** 現役の日体大生の案内でキャンパスを回ります。所要時間は30分程度です。日体大が誇る実技施設の数々は圧巻です。見てみたい施設を事前にチェックし、会場に来てください。

▶入学者選抜情報を知りたいなら

●**入学者選抜説明会(総合型選抜、学校推薦型選抜)** 選抜方式それぞれの説明と最新の受験情報を紹介します。「入試のポイントがよくわかる」と、参加者から好評です。●**講義内容やキャンパスライフについて興味があるなら**

●**体験授業** 学部の名称や説明を読んでも、どんなことを学ぶのかいまいちわからない人は少なくありません。そこで、各学部の学問領域がよくわかる体験授業を用意しています。専門的知識や科学的根拠を基に実践していくのが大学の体育・スポーツ。ぜひ、この機会に大学での講義を体験してみてください。事前予約は不要です。

※体験授業は開催日によって内容が変わります。詳しくは日体大サイト「オープンキャンパス」でご確認ください。

▶いろいろ相談したいなら

●**先生と話そう** 学部・学科の授業内容や特色について、直接先生から話を聞けます。魅力的な日体大の先生たちが、あなたの疑問・質問にお答えすべくお待ちしています。●**にったいゼンバイ広場** 入学者選抜、部活、大学生生活など、日体大の先輩もあなたと同じようなことで悩んだり、不安になったりしてきたはず。この機会に気になっていること、心配なことなどについて、ぜひ先輩たちに尋ねてみてください。

大学案内(GUIDE BOOK 2026)を読み込もう

大学案内には、大学の建学の精神や、ミッション・ビジョン、学長や本学教員のメッセージが掲載され、日本体育大学のことを知るために必要な情報が充実しています。また各学部・学科の紹介ページでは、各学部・学科の特色や授業内容が記載されており、理解を深めるには重要な資料となっております。その他、学生生活の紹介案内や就職状況等も確認できます。

プレゼンテーションとは？

プレゼンテーションとは、出題された課題に対して、自分で調べたり考えたりして資料を作成し、それに基づいて発表を行うことです。本選抜では、学部・コースごとに特色のある問題を出題し、一次選考でプレゼンテーション資料の評価を行い、二次選考で実際のプレゼンテーションによる内容の評価を行います。課題内容は、学生募集要項にて周知する予定です(7月中旬公開予定)。

ショートプレゼンテーションとは？

ショートプレゼンテーションはプレゼンテーションと同様に課題に対して資料を作成し、発表を行います。通常のプレゼンテーションと比べて発表時間を短く設定しているため、あらかじめ要点を整理し、限られた時間の中で自身の考え・意思等を伝えることが求められます。発表時間や課題内容は、学生募集要項にて周知する予定です(7月中旬公開予定)。

Case.2 小論文・小論文(資料分析型)・実技方式対策

小論文・小論文(資料分析型)の過去問題を確認しよう

一般選抜を除くすべての過去問題はホームページで確認できます。

オープンキャンパスに参加しよう

●**入学者選抜説明会(総合型選抜、学校推薦型選抜)** 選抜方式それぞれの説明と最新の受験情報を紹介します。「入試のポイントがよくわかる」と、参加者から好評です。●**総合型選抜 実技方式 体験コーナー** 実際に試験日に使われる道具などを使用して体験できます。「各実技種目のポイントがよくわかる」と、参加者から好評です。

小論文方式の“小論文(資料分析型)”とは？

●**小論文(資料分析型)**とは、『小論文』+『資料分析』各種資料に対する理解力、文章構成・表現力、分析力等を評価するものです。出願学科(コース)の特性を十分に理解し、関連する資料(データや記事等)を積極的に収集し、これを読み解く力を備えてください。

Case.3 併願を活用して受験機会を増やす(一部の選抜方式で併願割引あり)

体育学部 総合型選抜「学部別選考方式」・「トップアスリート方式」・「実技方式」 詳細はP3-4

体育学部の総合型選抜は最大5併願が可能です。

●総合型選抜学部別選考方式において体育学科・健康学科の同一日併願が可能です。(併願割引あり)
●総合型選抜実技方式において体育学科・健康学科の同一日併願が可能です。(併願割引あり)

※学部別選考方式・トップアスリート方式・実技方式の選抜方式を越えた併願割引はありません。※トップアスリート方式は学部内併願は不可。

保健医療学部 総合型選抜「学部別選考方式」・「基礎学力方式」 詳細はP7-8

保健医療学部の総合型選抜学部別選考方式と基礎学力方式において同一学科であれば併願が可能です。※整復医療学科と救急医療学科の併願は不可。

一般選抜 詳細はP12

A日程において、体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部の同一日併願が可能です。(併願割引あり) ※学部内併願は不可。

再チャレンジ

総合型選抜学部別選考方式Ⅰ期とⅡ期で再チャレンジが可能です。過去の試験結果は選考に影響しません。

入学定員及び募集人員

※募集人員は目標数であり、試験結果により合格者数は増減することがあります。

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜					学校推薦型選抜			一般選抜		
			Ⅰ期			Ⅱ期							
			トップアスリート方式	学部別選考方式	実技方式	学部別選考方式	トップアスリート方式	スポーツ推薦	指定校推薦	指定校推薦 (地域教員養成方式)	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
			10月				2月						
体育学部	体育学科	800	380					400			20		
	健康学科	195	100					90			5		

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜				学校推薦型選抜			一般選抜		
			Ⅰ期		Ⅱ期							
			トップアスリート方式	学部別 選考方式	学部別 選考方式	トップアスリート方式	スポーツ 推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
			10月			2月						
文化学部 スポーツ	武道教育学科	90	44		若干名	45			1			
	スポーツ国際学科	90	42			45		3				

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜		
			Ⅰ期		Ⅱ期						
			トップアスリート方式	学部別 選考方式	学部別 選考方式	スポーツ 推薦	指定校 推薦	スポーツ マネジメント推薦	A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
			10月								
シ ェ ン ト 学 部	スポーツマネ ジメント学科	245	122			120			3		
	スポーツライフ マネジメント学科	110	57			50			3		

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜		学校推薦型選抜				一般選抜		
			I 期	II 期							
			学部別 選考方式	学部別 選考方式	スポーツ 推薦	指定校 推薦	一般推薦	指定校推薦 (地域教員養成方式)	A日程	B日程	大学入学共通 テスト利用方式
教育学部	児童スポーツ 教育コース	120	57		60				3		
	幼児教育 保育コース	50	28		20					2	

学部	学科・コース	入学定員	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜		
			Ⅰ期		Ⅱ期						
			学部別選考方式	基礎学力方式	学部別選考方式	スポーツ推薦	指定校推薦	一般推薦	A日程	B日程	大学入学共通テスト利用方式
学部 保健医療	整復医療学科	90	50			37			3		
	救急医療学科	80	50			27			3		

学部	学科・コース	募集人員	帰国生及び国際バカロレア資格選抜	外国人留学生選抜	リカレント選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	若干名	●	●	●	●
	健康学科		●	●	●	●
スポーツ文化学部	武道教育学科		●	●	●	-
	スポーツ国際学科		●	●	●	-
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●	-
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●	-
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース		●	-	●	-
	幼児教育保育コース		●	-	●	-
保健医療学部	整復医療学科		●	-	●	-
	救急医療学科		●	-	●	-

学部別選考方式

競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

期	学科	出願期間	一次合格発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	体育	9/10(水)～		10/19 (日)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査 小論文(資料分析型)(60分)、集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	健康	9/22(月)						
Ⅱ期	体育	11/1(土)～	11/12 (水)	11/16 (日)	12/4 (木)	12/12 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:プレゼンテーション	
	健康	11/6(木)						

出願要件

体育 学科	次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。 (1)本学体育学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。 (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。 (3)学科・専攻の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。 (4)体育・スポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。 ①競技力に優れたアスリートを目指し、競技力向上に関わる専門的知識を修得するとともに実践的応用力を身に付けて、広くスポーツ界で活躍しようとする意欲を有する者。 ②高い専門性を有した指導者・コーチを目指し、スポーツコーチングに関わる知識と実践力を身に付けて、スポーツの競技力向上及びアスリートの幸福に貢献しようとする意欲を有する者。 ③高い専門性を有したスポーツ医・科学サポートスタッフを目指し、スポーツ医・科学、情報に関する専門的知識と実践力を身に付けて、スポーツ選手の競技サポートに貢献しようとする意欲を有する者。 ④高い専門性を有した保健体育教諭やスポーツ指導者を目指し、体育・スポーツに関わる基礎的知識と実践力を身に付けて、学校教育や地域スポーツの実践に貢献しようとする意欲を有する者。 ⑤高い専門性を有した特別支援学校教諭を目指し、特別支援教育に求められる幅広い知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。
健康 学科	次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。 (1)本学健康学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。 (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。 (3)学科・専攻の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。 (4)体育・スポーツへの関心が極めて高く、健康で豊かな暮らしの実現に向けて、スポーツ医科学と教育、福祉、保健との連携に基づいた専門的な知識や技術を用い、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。 ①高い専門性を有したソーシャルワーカーや健康運動指導士等を目指し、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付けて、地域に根差した健康と福祉の増進に貢献しようとする意欲を有する者。 ②高い専門性を有したパーソナルトレーナーやストレングス&コンディショニングスペシャリスト等を目指し、医科学と指導に関わる専門的知識と実践力を身に付けて、自他の身体作りに貢献しようとする意欲を有する者。 ③身体と健康に関する高い専門性を有した保健体育教諭を目指し、子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。 ④身体と健康に関する高い専門性を有した養護教諭を目指し、子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる専門的知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。

併願割引

総合型選抜学部別選考方式において**体育学科・健康学科**の同一日併願が可能です。1併願で20,000円が割引になります。
※学部別選考方式・トップアスリート方式・実技方式の選抜方式を越えた併願割引はありません。※詳細については、学生募集要項をご確認ください。

体育学科 35,000円 + **健康学科 35,000円 15,000円** = **入学検定料 70,000円 50,000円**

トップアスリート方式

競技実績でチャレンジ

	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
10月	体育	9/10(水)～	10/2 (木)	10/18 (土)	11/1 (土)	11/14 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:小論文(60分)、集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	健康	9/16(火)						
2月	体育	1/7(水)～	1/22 (木)	2/2 (月)	2/9 (月)	2/16 (月)	一次選考:書類審査 二次選考:小論文(60分)、集団面接(10分)	
		1/13(火)						

対象競技種目

対象となる競技種目は下記の通りとなります。

No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子
1	陸上競技	●	●	10	硬式野球	●		28	自転車競技	●	●
2	体操競技	●	●	11	ソフトボール	●	●	29	トライアスロン	●	●
3	水泳	●	●	12	バドミントン	●	●	30	ラクロス	●	●
4	バレーボール	●	●	13	ソフトテニス	●	●	31	ライフセービング	●	●
5	バスケットボール	●	●	14	硬式テニス(テニス部)	●	●	32	新体操		●
6	ハンドボール	●	●	15	卓球	●	●	33	チャリレーディング(チャリレーダ部)	●	●
7	ラグビー	●	●	16	レスリング	●	●	34	グラウンドホッケー(ホッケー部)	●	●
8	サッカー	●	●	17	フencing	●	●	35	近代五種競技	●	●
9	アメリカンフットボール	●		18	ボクシング	●	●	36	山岳・スポーツクライミング	●	●

ただし、本学学生会団体が変更した場合は差し替えることとする。

出願要件

体育 学部	次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。 (1)本学体育学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、合格の際は入学を確約できる者。 (2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。 (3)スポーツの分野で、社会に貢献する意欲を有すること。 (4)スポーツの分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。 (5)令和5年4月1日以降の競技成績が以下のいずれかに該当する者。 ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。 ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第8位以内(※)の実績を有し、特に優れ将来性のある者。 ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。 ※ランキングは各年度(シーズン)の最終順位とする。 ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。 ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内に入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。 ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。
	個人競技種目 国際競技種目

実技方式

競技実績不問、運動能力でチャレンジ

期	学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	体育	9/10(水)～	10/12 (日)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査 実技試験(4種目)、集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
	健康	9/22(月)					

※実技試験は、総合点または種目ごとの上位者を合格対象者とする。

出願要件

体育 学科	次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。 (1)本学体育学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。 (2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。 (3)本学入学後もスポーツ活動を継続する意欲がある者。 (4)学科・専攻の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。 (5)体育・スポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。 ①競技力に優れたアスリートを目指し、競技力向上に関わる専門的知識を修得するとともに実践的応用力を身に付けて、広くスポーツ界で活躍しようとする意欲を有する者。 ②高い専門性を有した指導者・コーチを目指し、スポーツコーチングに関わる知識と実践力を身に付けて、スポーツの競技力向上及びアスリートの幸福に貢献しようとする意欲を有する者。 ③高い専門性を有したスポーツ医・科学サポートスタッフを目指し、スポーツ医・科学、情報に関する専門的知識と実践力を身に付けて、スポーツ選手の競技サポートに貢献しようとする意欲を有する者。 ④高い専門性を有した保健体育教諭やスポーツ指導者を目指し、体育・スポーツに関わる基礎的知識と実践力を身に付けて、学校教育や地域スポーツの実践に貢献しようとする意欲を有する者。 ⑤高い専門性を有した特別支援学校教諭を目指し、特別支援教育に求められる幅広い知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。
健康 学科	次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。 (1)本学健康学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。 (2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。 (3)本学入学後もスポーツ活動を継続する意欲がある者。 (4)学科・専攻の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。 (5)体育・スポーツへの関心が極めて高く、健康で豊かな暮らしの実現に向けて、スポーツ医科学と教育、福祉、保健との連携に基づいた専門的な知識や技術を用い、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。 ①高い専門性を有したソーシャルワーカーや健康運動指導士等を目指し、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付けて、地域に根差した健康と福祉の増進に貢献しようとする意欲を有する者。 ②高い専門性を有したパーソナルトレーナーやストレングス&コンディショニングスペシャリスト等を目指し、医科学と指導に関わる専門的知識と実践力を身に付けて、自他の身体作りに貢献しようとする意欲を有する者。 ③身体と健康に関する高い専門性を有した保健体育教諭を目指し、子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。 ④身体と健康に関する高い専門性を有した養護教諭を目指し、子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる専門的知識と実践力を身に付けて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。

実技種目紹介

参考動画を以下URLからご確認ください。

<https://www.nittai.ac.jp/exam/sougou/undoh.html>



・50m走

50mの距離を走り、タイムを計測する種目です。

・立ち5段跳び

助走なしの状態から片足交互に7回連続で跳躍し、5回目までの距離を計測する種目です。

・メディシンボール投げ

男子4kg、女子3kgのメディシンボールを後ろ投げにて投げ、飛距離を計測する種目です。

・3コーンドリル

5ヤード(約4.57m)間隔に設置されたコーンを指定された順番に走り、要する時間を計測する種目です。
詳細は参考動画をご確認ください。

併願割引

総合型選抜**実技方式**において**体育学科・健康学科**の同一日併願が可能です。1併願で20,000円が割引になります。
※学部別選考方式・トップアスリート方式・実技方式の選抜方式を越えた併願割引はありません。※詳細については、学生募集要項をご確認ください。

体育学科 35,000円 + **健康学科 35,000円 15,000円** = **入学検定料 70,000円 50,000円**

学部別選考方式

競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

期	学科	出願期間	一次合格発表日	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	武道教育学科	9/10(水)～ 9/22(月)		10/19 (日)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査・個人面接(10分) 実技試験 ※実技試験は武道教育学科のみ実施(動画提出)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	スポーツ国際学科							
Ⅱ期	スポーツ国際学科	11/1(土)～ 11/10(月)	11/27 (木)	12/13 (土)	12/25 (木)	1/9 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:プレゼンテーション	

出願要件

武道教育学科

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学武道教育学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- (3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- (4)武道(伝統芸能会)への関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、国内外問わず社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。
 - ① 武道の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。
 - ② 身体表現を伴う太鼓演奏、伝統的な舞踊の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。

スポーツ国際学科

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学スポーツ国際学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- (3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- (4)スポーツへの関心が極めて高く、国際協力・国際交流・開発援助を促進するための知識や技術を養い、将来、国際社会の中で日本の精神文化に立脚したスポーツ指導を実践し、国内外問わず社会貢献をしようという強い希望のある者。

トップアスリート方式

競技実績でチャレンジ

	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
10月	武道教育学科	9/10(水)～ 9/16(火)	10/2 (木)	10/18 (土)	11/1 (土)	11/14 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:小論文(60分)、集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	スポーツ国際学科							
2月	武道教育学科	1/7(水)～ 1/13(火)	1/22 (木)	2/2 (月)	2/9 (月)	2/16 (月)	一次選考:書類審査 二次選考:小論文(60分)、集団面接(10分)	

対象競技種目

対象となる競技種目は下記の通りとなります。

No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子
1	陸上競技	●	●	12	バドミントン	●	●	23	ゴルフ	●	●
2	体操競技	●	●	13	ソフトテニス	●	●	24	トランボリン競技	●	●
3	水泳	●	●	14	硬式テニス(テニス部)	●	●	25	カヌー	●	●
4	バレーボール	●	●	15	卓球	●	●	26	空手道	●	●
5	バスケットボール	●	●	16	レスリング	●	●	27	少林寺拳法	●	●
6	ハンドボール	●	●	17	フェンシング	●	●	28	ボート	●	●
7	ラグビー	●	●	18	ボクシング	●	●	29	柔道	●	●
8	サッカー	●	●	19	スキー	●	●	30	剣道	●	●
9	アメリカンフットボール	●		20	スケート	●	●	31	相撲	●	
10	硬式野球	●		21	ウエイトリフティング	●	●	32	軟式野球	●	●
11	ソフトボール	●	●	22	アーチェリー	●	●	33	自転車競技	●	●

武道教育学科の出願は、No.26空手道、No.27少林寺拳法、No.29柔道、No.30剣道、No.31相撲の種目のみとする。
ただし、本学学生会団体変更した場合は差し替えることとする。

出願要件

スポーツ文化学部

次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学スポーツ文化学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。
- (3)スポーツまたは武道の分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
- (4)スポーツまたは武道の分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
- (5)令和5年4月1日以降の競技成績が以下のいずれかに該当する者。
 - ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第8位以内(※)の実績を有し、特に優れ将来性のある者。
 - ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。※ランキングは各年度(シーズン)の最終順位とする。
- ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内に入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。
- ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

学部別選考方式

競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

期	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	スポーツマネジメント学科	9/10(水)～ 9/16(火)	10/2 (木)	10/19 (日)	11/1 (土)	11/14 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:ショートプレゼンテーション ※書類審査で自己PR動画提出	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	スポーツライフマネジメント学科							
Ⅱ期	スポーツマネジメント学科	11/1(土)～ 11/10(月)	11/27 (木)	12/13 (土)	12/25 (木)	1/9 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:プレゼンテーション ※書類審査で自己PR動画提出	
	スポーツライフマネジメント学科							

出願要件

スポーツマネジメント学科

次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学スポーツマネジメント学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)全体の学習成績の状況(評定平均)は、問わない。
- (3)学科の特色を理解し、強い学修意欲があること。
- (4)ビジネスの視点でスポーツをマネジメントすることへの関心が極めて高く、自分の考えをわかりやすく説明でき、さらに他の人の意見も取り入れ多様な人々と協力できること。
- (5)将来、ビジネスの視点からスポーツをマネジメントすることを通じて、スポーツの新たな価値の創出に取り組むという目標を持っていること。

スポーツライフマネジメント学科

次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学スポーツライフマネジメント学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)全体の学習成績の状況(評定平均)は、問わない。
- (3)学科の特色を理解し、強い学修意欲があること。
- (4)人々の健康増進や豊かな生活の実現に重点を置いてスポーツをマネジメントすることへの関心が極めて高く、自分の考えをわかりやすく説明でき、さらに他の人の意見も取り入れ多様な人々と協力できること。
- (5)将来、次のような目標を持っていること。
 - ①レクリエーション活動やアウトドアスポーツなどを通じて、人々が健康で豊かな生活を送ることのできるさまざまなプログラムを企画・実践すること。
 - ②地域と学校の連携を促進し、地域全体で子どもたちの豊かなスポーツ活動や学びを支えることや、授業や運動部、体育祭、臨海学校、林間学校などの学校体育をマネジメントすること。
 - ③多様性を尊重し支え合える環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会をマネジメントすることで共生社会の実現に貢献すること。

書類審査「自己PR動画」とは？

自己PR動画は、提出書類だけでは分からない適性や意欲、熱意・関心、人柄・伝達力等を評価します。
提出方法等の詳細は、学生募集要項にて周知する予定です。(7月中旬公開予定)

トップアスリート方式

競技実績でチャレンジ

	学科	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
10月	スポーツマネジメント学科	9/10(水)～ 9/16(火)	10/2 (木)	10/18 (土)	11/1 (土)	11/14 (金)	一次選考:書類審査 二次選考:小論文(60分)、集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	スポーツライフマネジメント学科							

対象競技種目

対象となる競技種目は下記の通りとなります。

No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子	No	競技種目名 (本学学生会団体)	男子	女子
1	陸上競技	●	●	10	硬式野球	●		19	スキー	●	●
2	体操競技	●	●	11	ソフトボール	●	●	20	スケート	●	●
3	水泳	●	●	12	バドミントン	●	●	21	ウエイトリフティング	●	●
4	バレーボール	●	●	13	ソフトテニス	●	●	22	アーチェリー	●	●
5	バスケットボール	●	●	14	硬式テニス(テニス部)	●	●	23	ゴルフ	●	●
6	ハンドボール	●	●	15	卓球	●	●	24	トランボリン競技	●	●
7	ラグビー	●	●	16	レスリング	●	●	25	カヌー	●	●
8	サッカー	●	●	17	フェンシング	●	●	26	ボート	●	●
9	アメリカンフットボール	●		18	ボクシング	●	●	27	軟式野球	●	●

ただし、本学学生会団体変更した場合は差し替えることとする。

出願要件

スポーツマネジメント学部

次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学スポーツマネジメント学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。
- (3)スポーツの分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
- (4)スポーツの分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学生会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
- (5)令和5年4月1日以降競技成績が以下のいずれかに該当する者。
 - ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第16位以内の入賞者、全国ランキング(高等学校ランキング含む)第16位以内(※)の実績を有し、特に優れ将来性のある者。
 - ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。※ランキングは各年度(シーズン)の最終順位とする。
- ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
- ・全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会及びこれらに準じる規模の日本の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第16位以内に入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者。
- ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

学部別選考方式 競技実績不問、将来の展望や学びの目的をアピール

期	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	児童スポーツ教育コース	9/10(水)～	10/18 (土)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査 小論文(60分)、個人面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	幼児教育保育コース	9/22(月)					
Ⅱ期	児童スポーツ教育コース	11/1(土)～	12/13 (土)	12/25 (木)	1/9 (金)	書類審査 小論文(60分)、個人面接(10分)	
	幼児教育保育コース	11/10(月)					

出願要件

児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学科
次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。
(1)本学児童スポーツ教育学科への志望動機が明確で、合格の際は入学を確約できる者。
(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
(3)学科・コースの特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
(4)児童スポーツ教育学及びスポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。
【児童スポーツ教育コース】
学校現場や地域における児童・生徒の体育スポーツや健康に関する適切な指導・支援が行える小学校教諭、中学校教諭等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。
【幼児教育保育コース】
教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

学部別選考方式 論理的に意見を述べる力をアピール

期	学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	整復医療学科	9/10(水)～	10/18 (土)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査 小論文(60分)、個人面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	救急医療学科	9/22(月)					
Ⅱ期	整復医療学科	11/1(土)～	12/13 (土)	12/25 (木)	1/9 (金)	書類審査 小論文(60分)、個人面接(10分)	
	救急医療学科	11/10(月)					

出願要件

整復医療学科

次の(1)～(7)の要件を全て満たしている者とする。
(1)本学整復医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、合格の際は入学を確約できる者。
(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
(4)柔道整復師の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
(5)向上心を持ち、整復医療の知識・技術の習得に積極的な者。
(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

救急医療学科

次の(1)～(7)の要件を全て満たしている者とする。
(1)本学救急医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、合格の際は入学を確約できる者。
(2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
(4)救急救命士の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
(5)向上心を持ち、救急医療の知識・技術の習得に積極的な者。
(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

基礎学力方式 評定平均不問、基礎学力でチャレンジ

期	学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
Ⅰ期	整復医療学科	9/10(水)～ 9/22(月)	10/19 (日)	11/1 (土)	11/14 (金)	書類審査 基礎学力試験 (国語・数学・英語)(90分) 集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷 キャンパス)
	救急医療学科						

出願要件

整復医療学科

次の(1)～(7)の要件を全て満たしている者とする。
(1)本学整復医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、合格の際は入学を確約できる者。
(2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。
(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
(4)柔道整復師の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
(5)向上心を持ち、整復医療の知識・技術の習得に積極的な者。
(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

救急医療学科

次の(1)～(7)の要件を全て満たしている者とする。
(1)本学救急医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、合格の際は入学を確約できる者。
(2)全体の学習成績の状況(評定平均値)は、問わない。
(3)学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
(4)救急救命士の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
(5)向上心を持ち、救急医療の知識・技術の習得に積極的な者。
(6)人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
(7)社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

基礎学力方式について

90分の試験時間で、国語(現代文)、数学、英語の基礎的な問題を解答します。解答方法はマークシート方式としますが、別途漢字の書き取り問題も出題する予定です。

■入学金免除

各学科の成績上位者は入学金(30万円)を免除します。
※学部別選考方式を併願し、合格した場合は基礎学力方式で入学手続きをする場合に限りです。

■学部別選考方式Ⅰ期と併願が可能

総合型選抜学部別選考方式Ⅰ期と同一学科であれば併願が可能です。※併願割引はありません。

※詳細については、学生募集要項をご確認ください。

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
一般推薦	スポーツ文化学部	スポーツ国際学科	11/1(土)～11/5(水)	11/15(土)	12/4(木)	12/12(金)	書類審査 小論文(60分) 集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース						
		幼児教育保育コース						
	保健医療学部	整復医療学科						
		救急医療学科						

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
スポーツマネジメント推薦	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	11/1(土)～11/5(水)	11/15(土)	12/4(木)	12/12(金)	書類審査 小論文(60分) 集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
		スポーツライフマネジメント学科						

区分	学部	学科・コース	出願期間	一次合格発表日	二次試験日	二次合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
スポーツ推薦	体育学部	体育学科	11/1(土)～11/10(月)	11/27(木)	12/14(日)	12/25(木)	1/9(金)	一次選考：書類審査 二次選考：小論文(60分) 集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
		健康学科							
	スポーツ文化学部	武道教育学科							
		スポーツ国際学科							
	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科							
		スポーツライフマネジメント学科							
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース							
		幼児教育保育コース							
保健医療学部	保健医療学部	整復医療学科							
		救急医療学科							

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
指定校推薦	体育学部	体育学科	11/1(土)～11/10(月)	12/14(日)	12/25(木)	1/9(金)	書類審査 小論文(60分) 集団面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
		健康学科						
	スポーツ文化学部	武道教育学科						
		スポーツ国際学科						
	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科						
		スポーツライフマネジメント学科						
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース						
		幼児教育保育コース						
保健医療学部	保健医療学部	整復医療学科						
		救急医療学科						

区分	学部	学科・コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	選考方法	試験場
(地域教員養成方式)指定校推薦	体育学部	体育学科	11/1(土)～11/10(月)	12/14(日)	12/25(木)	1/9(金)	書類審査 個人面接(10分)	本学 (東京・世田谷キャンパス)
		健康学科						
	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース						

推薦基準

一般推薦

スポーツ文化学部

【スポーツ国際学科】

本学スポーツ国際学科への志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時にスポーツ活動を行い、本学入学後も日本の伝統的なスポーツ文化並びに国外のスポーツ文化に強い関心を持ち、スポーツを通した異文化理解や国際貢献に取り組みたいと考え、スポーツ文化の価値を通した開発支援や国際貢献に取り組む意欲を有する者とする。

児童スポーツ教育学部

【児童スポーツ教育コース】

本学児童スポーツ教育コースへの志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、児童教育学及び児童・生徒の体育スポーツや健康指導・支援に強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【幼児教育保育コース】

本学幼児教育保育コースへの志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する学力及び人物に優れた者とする。

保健医療学部

【整復医療学科】

本学整復医療学科への志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、柔道整復分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

【救急医療学科】

本学救急医療学科への志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、救急医療分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者とする。

スポーツマネジメント推薦

スポーツマネジメント学部

【スポーツマネジメント学科】

本学スポーツマネジメント学科への志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時に授業、行事、課外活動(運動部など)、地域スポーツクラブ、NPOや会社等でマネジメント活動※を行い、本学入学後もスポーツビジネスや運動部マネジメントなどに強い関心を持つ者とする。

【スポーツライフマネジメント学科】

本学スポーツライフマネジメント学科への志望動機が明確であり、原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、合格の際は入学を確約できる令和8年3月卒業見込みの者に限る。また、高等学校在学時に授業、行事、課外活動(運動部など)、地域スポーツクラブ、NPOや会社等でマネジメント活動※を行い、本学入学後も学校体育(運動部を含む)マネジメントや地域・アウトドアスポーツ・レクリエーション・健康等のスポーツライフマネジメントに強い関心を持つ者とする。

※「マネジメント活動」とは、校内のいろいろな組織的活動においてマネジメントスタッフ(いわゆるマネジャー)や主将・コーチ・代表等を務めて運営に携わったり、地域スポーツクラブにおいてスタッフとしてクラブ運営に携わることを指す。

スポーツ推薦

体育学部

スポーツ文化学部

スポーツマネジメント学部

保健医療学部

次の(1)～(4)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学志望学部(志望学科)への志望動機が明確であり、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- (3)本学入学後も競技を継続し、その競技力の更なる向上を目指す者。ただし、スポーツ文化学部武道教育学科に出願する者は、本学入学後に本学学友会団体に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者とする。
- (4)令和5年4月1日以降の競技成績が、原則として以下のいずれかに該当する者。
 - ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - ・スポーツ競技大会(全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会等の規模以上の日本の大会とし、定時制及び通信制等の全国大会の成績は含まない)に選手として出場した者。
 - ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

児童スポーツ教育学部

次の(1)～(5)の要件を全て満たしている者とする。

- (1)本学児童スポーツ教育学部(志望コース)への志望動機が明確であり、合格の際は入学を確約できる者。
- (2)学業成績は原則として全体の学習成績の状況(評定平均値)3.0以上であること。
- (3)4年間で教員免許や資格を取得するには、教育実習や保育実習等の実習が複数あるため、学業と競技の両方をしっかりと図るよう心がけることができる者。
- (4)本学入学後も競技を継続し、その競技力の更なる向上を目指す者。
- (5)令和5年4月1日以降の競技成績が、原則として以下のいずれかに該当する者。
 - ・世界選手権等の国際大会の代表選手に選出された実績をもつ者。
 - ・スポーツ競技大会(全国高等学校総合体育大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本選手権大会等の規模以上の日本の大会とし、定時制及び通信制等の全国大会の成績は含まない)に選手として出場した者。
 - ・中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

指定校推薦

体育学部

スポーツ文化学部

スポーツマネジメント学部

児童スポーツ教育学部

保健医療学部

指定校推薦は、本学が指定する学校による推薦に基づく入学者選抜です。公募制ではありません。詳細については、指定する高等学校長に別途連絡いたしますので、在学中の高等学校にてご確認ください。

指定校推薦(地域教員養成方式)

体育学部

児童スポーツ教育学部

指定校推薦(地域教員養成)は、本学が指定する学校による推薦に基づく入学者選抜です。公募制ではありません。詳細については、指定する高等学校長に別途連絡いたしますので、在学中の高等学校にてご確認ください。

A日程・B日程・大学入学共通テスト利用方式

学部	学科・コース	出願期間	試験日			合格発表日	入学手続締切日	試験場
			A日程	B日程	大学入学 共通テスト 利用方式			
			2/1(日)	2/2(月)				
体育学部	体育学科	12/22 (月) ～ 1/9 (金)	●	●	●	2/9 (月)	2/16 (月)	本学 (東京・世田谷 キャンパス) 札幌 高崎 名古屋 大阪
	健康学科		●	●	●			
文化スポーツ部	武道教育学科		-	●	●			
	スポーツ国際学科		●	●	●			
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科		●	●	●			
	スポーツライフマネジメント学科		●	●	●			
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育コース		●	●	●			
	幼児教育保育コース		-	●	●			
保健医療学部	整復医療学科		●	●	●			
	救急医療学科		●	●	●			

※A日程において、体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部の同一日併願可(学部内併願不可)。

選考方法

A・B日程	筆記試験(60分)マークシート方式	国語:「現代の国語」及び「言語文化」(古典を除く) 英語:「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」	各100点(合計200点)
	実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が選択した種目で行う。	本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。
	面接試験 ※保健医療学部のみ	集団面接(10分)	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。

大学入学共通テスト利用方式

大学入学共通テスト	必須	国語	『国語』	近代以降の文章のみ	各100点 (合計300点) 『国語』は110点を100点換算する
		外国語	『英語』	リーディングのみ	
	選択	地理歴史・公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』	・高得点の1科目を採用する。 ・地理歴史・公民の『地理総合／歴史総合／公共』は2科目あわせて1科目として扱う。	
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	・理科の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2科目あわせて1科目として扱う。	
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		
本学試験	情報	『情報Ⅰ』			
	実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ	柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が選択した種目で行う。		本学武道教育学科の学生としての適性を判断する。	
			面接試験(10分)※保健医療学部のみ	本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。	

保健医療学部 面接試験について(詳細については、学生募集要項をご確認ください。)
＜A・B日程、大学入学共通テスト利用方式を併願(他学部含む)する場合＞
・試験日は受験票で通知し、筆記試験終了後に面接を実施する。
本学会場:集団面接(対面) サテライト会場:集団面接(オンライン)
・保健医療学部の同一学科を併願する場合の面接は1回のみ実施する。

＜大学入学共通テスト利用方式のみ出願する場合＞
・個人面接(オンライン)を実施する。試験日は2月1日、2日から受験者が選択する。

一般選抜A・B日程における英語外部試験の活用について

任意で提出したCEFRレベル「B1」以上の英語外部試験結果は、CEFRレベルごとに得点化し、英語の得点に加点します。ただし、加点後の得点は、100点を上限とします。

※加算する点数 B1=5点、B2=10点、C1=15点、C2=20点

■各試験団体の採点によるCEFRの対照表(文部科学省2018年3月)

※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)

CEFR	実用英語技能検定	ケンブリッジ英語検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R TOEIC S&W
C2		230 - 200		9.0 - 8.5				
C1	1級 3299 - 2600	199 - 180	1400 - 1350	8.0 - 7.0	400 - 375	800	120 - 95	1990 - 1845
B2	準1級 2599 - 2300	179 - 160	1349 - 1190	6.5 - 5.5	374 - 309	795 - 600	94 - 72	1840 - 1560
B1	2級 2299 - 1950	159 - 140	1189 - 960	5.0 - 4.0	308 - 225	595 - 420	71 - 42	1555 - 1150
A2	準2級	139 - 120	959 - 690		224 - 135	415 - 235		1145 - 625
A1	3級 - 5級	119 - 100	689 - 270					620 - 320

※学生募集要項にて最終決定版を公表する。

一般選抜併願割引について

1併願ごと20,000円(大学入学共通テスト利用方式は10,000円)が割引となります。

A日程で
最大3学部の同一日併願が可能
(体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部)

A日程・B日程
大学入学共通テスト利用方式で併願が可能

最大5併願が可能

case. 01 A日程で体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部に出願する場合

01 A日程 体育学部 35,000円	+	02 A日程 スポーツ文化学部 35,000円 15,000円	+	03 A日程 スポーツマネジメント学部 35,000円 15,000円	+	04 B日程 35,000円 15,000円	+	05 大学入学共通テスト利用方式 15,000円 5,000円	=	5併願 入学検定料 155,000円 85,000円
---------------------------	---	---	---	---	---	---	---	--	---	--

case. 02 A日程で児童スポーツ教育学部または保健医療学部に出願する場合

01 A日程 児童スポーツ教育学部 35,000円	or	01 A日程 保健医療学部 35,000円	+	02 B日程 35,000円 15,000円	+	03 大学入学共通テスト利用方式 15,000円 5,000円	=	3併願 入学検定料 85,000円 55,000円
---------------------------------	----	-----------------------------	---	---	---	--	---	---

POINT!

一般選抜A・B日程の筆記試験は、国語と英語の試験になります。基礎的な問題と応用問題がありますので、対策としては、過去問題を確認して本学の傾向をつかみましょう！
一般選抜の過去問題については、『赤本』(教学社)にて掲載しております。

全国の書店や教学社のホームページ(URL▶<https://akahon.net/>)にて9月中旬より購入可能です。

特別選抜



※選抜日程等詳細については、本学HPよりご確認ください。

学部	学科・コース	帰国生及び 国際バカロレア資格選抜	外国人 留学生選抜	リカレント 選抜	飛び入学選抜
体育学部	体育学科	●	●	●	●
	健康学科	●	●	●	●
スポーツ文化学部	武道教育学科	●	●	●	-
	スポーツ国際学科	●	●	●	-
スポーツ マネジメント 学部	スポーツマネジメント学科	●	●	●	-
	スポーツライフマネジメント学科	●	●	●	-
児童スポーツ教育 学部	児童スポーツ教育コース	●	-	●	-
	幼児教育保育コース	●	-	●	-
保健医療学部	整備医療学科	●	-	●	-
	救急医療学科	●	-	●	-

出願期間	試験日	合格 発表日	入学手続 締切日	選考方法	試験場
11/1 (土) ～ 11/10 (月)	12/14 (日)	12/25 (木)	1/9 (金)	下表参照	本学 (東京・世田谷 キャンパス)

選抜 区分	出願資格		選考方法
帰国生及び国際バカロレア資格選抜	帰国生	次のすべてに該当する者または令和8年3月31日までに該当する見込みの者。 (1) 日本国籍を有する者のほか、日本における在留資格「永住者」を有する者または特別永住者。 (2) 令和8年3月31日までに18歳に達する者。 (3) 次のいずれかに該当する者。 ①外国において、学校教育(日本国内の外国人学校は含まない)における12年の課程のうち、当該外国の学校教育制度において位置付けられた高等学校に対応する学校の課程に2年以上継続して在学し、令和8年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。 ②外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(※1)に2年以上継続して在学し、令和8年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。 ③国際的な認可団体(WASC,CIS,ACSI,NEASC)の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程に、2年以上継続して在学し、令和8年3月31日までに卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後3年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。 ④外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE(General Certificate of Education)Aレベル(※2)を保有する者で、それらの認定証明書を取得できる日本国外にある学校に最終学年を含めて2年以上継続して在学し、資格取得後の経過年数が出願時まで3年未満である者。 ⑤日本の高等学校を令和8年3月卒業見込みの者で、外国の中学校から高等学校の在籍期間中に2年以上継続して在学し、外国において外国の教育課程に基づく教育を受け、帰国後の在籍期間が1年半未満の者。 (※1)文部科学大臣指定の高等学校に対応する外国の学校の課程は、文部科学省のサイト(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)参照。 (※2)GCE(General Certificate of Education)Aレベルは1科目以上合格で評価E以上を有していること。 ・日本国内にあるインターナショナルスクールや外国人学校の卒業者は対象としない。 ・文部科学省により日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定された在外教育施設の卒業者は対象としない。 ・帰国生選抜における当該年度受験者の次年度以降の出願は認めない。	小論文試験(60分) (日本語で論述する) プレゼンテーション (日本語で行う) 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)
	国際バカロレア資格	次のすべてに該当する者または令和8年3月31日までに該当する見込みの者。 (1) 日本国籍を有する者のほか、日本における在留資格「永住者」を有する者または特別永住者。 (2) 令和8年3月31日までに18歳に達する者。 (3) 次のすべてに該当する者。 ① 国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者もしくは令和8年3月31日までに授与見込みの者。 ② 日本国内で国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者。 ・日本国外で国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者は、本入試の対象としない。 ・国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、令和8年3月31日までに国際バカロレア資格を取得出来ない場合は、合格取消とする。	

選抜 区分	出願資格	選考方法
外国人留学生選抜	次のすべてに該当する者または令和8年3月31日までに該当する見込みの者。 (1) 日本国籍を有しない者及び日本国の永住許可(特別永住許可を含む)を得ていない者。 (2) 令和8年3月31日までに18歳に達する者。 (3) 入学時に在留資格「留学」を有する者。 (4) 次のいずれかに該当する者。 ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。 ②外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(※1)を修了した者または令和8年3月31日までに修了見込みの者。 ③外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE(General Certificate of Education)Aレベル(※2)を保有する者。 ④国際的な認可団体(WASC,CIS,ACSI,NEASC)の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程を令和8年3月31日までに修了または修了見込みの者。 ・上記出願資格においては、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」の基準を含む。 ・日本の高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した(修了見込みの)者は含まない。 (※1)文部科学大臣指定の高等学校に対応する外国の学校の課程は、文部科学省のサイト(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)参照。 (※2)GCE(General Certificate of Education)Aレベルは1科目以上合格で評価E以上を有していること。	小論文試験(60分) (日本語で論述する) プレゼンテーション (日本語で行う) 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)
リカレント選抜	令和8年3月31日現在満22歳以上の者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。 (1) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者。 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。 (3) 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。	小論文試験(60分) プレゼンテーション 実技試験 (武道教育学科のみ実施。動画提出)
飛び入学選抜	次の(1)～(3)のすべてに該当する者。 (1)本学入学時に高等学校の在学期間が2年になる者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)。 (2)本学が展開する教育研究の分野(体育及びスポーツ科学)において特に優れた資質(オリンピック及びこれに準ずる国際大会における上位入賞の経験等)を有すると認められる者。 (3)上記(2)について、これを証明する高等学校長あるいは指導者(外部指導者を含む)が推薦する者。	小論文試験(60分) プレゼンテーション

各学部が定める3つの方針

体育学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

体育学部では、大学の「教育目標」に基づき、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する専門教育並びに教養科目に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と専門分野（体育学・スポーツ科学・健康科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- 体育とスポーツ文化への理解をもち、体育・スポーツの発展に貢献できる人物になるための科学的知識・思考並びに実践力を身に付けている。

汎用的能力

- 専門的知識を使って体育・スポーツ・健康に関する課題の発見・解決の方法を見出すことができる。（課題発見・解決能力）
- 現象を筋道を立てて思考し、課題解決のために科学的思考と規範的判断力を運用できる。（論理的思考力・規範的判断力）
- ICTをはじめとする多様な手段を使って情報を収集・分析し、日本語と

- 外国語を使った高度なコミュニケーションができる。（リテラシー）
- 競技力向上から教育・健康・福祉まで、人々の多種多様な体育・スポーツ・健康への取り組みを専門的知見に基づいてサポートすることができる。（未来社会を構想・設計する力）

態度

- 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の課題解決に向かって主体的に参画し、多様な活動を立案・運営できる。
- 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。
- 現実の社会生活において規範やルールを尊重し、高い倫理観を備えようとしている。
- 教養並びに専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けながら自己を大切に生きようとしている。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
- 体育・スポーツの専門家として、また人権意識を持つ地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- 多様性を受け容れ、共生・共感的態度を持った体育・スポーツの専門家として幅広い教養を身に付け、生涯学び続ける態度を養うために「スポーツ教養科目」並びに「基礎教養科目」を配置する。
- 体育学の学門的専門性を養うために、体育学全般の基礎を扱う「研究ゼミナールA」を1年次に、各コースでの専門への導入を扱う「研究ゼミナールB」を2年次に、卒業研究のための基礎的研究活動を行う「研究ゼミナールCⅠ」を3年次前期、「研究ゼミナールCⅡ」を3年次後学期に配置する。卒業研究のための実践的研究活動を行う「研究ゼミナールDⅠ」を4年次前期、卒業研究を含む「研究ゼミナールDⅡ」を4年次後学期に配置する。以上の科目設置によって体育学の専門家としての段階的、体系的な能力向上を図る。
- 多様な社会や人材へ対応することができるよう「サブプログラム」を設ける。

体育学科

スポーツ科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるため、体育学科共通科目を設ける。
【スポーツ科学専攻】
競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践的応用力を養うために「アスリートプログラム」、「スポーツコーチングプログラム」、「競技サポートプログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。
①アスリートプログラム
競技力向上に関する専門的知識と実践力を身に付けるため、アスリートに関わる専門的知識と実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
②スポーツコーチングプログラム
スポーツコーチングに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、競技力向上のための実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
③競技サポートプログラム
競技サポートに関する専門的知識と実践力を身に付けるために、必要な専門科目と競技サポート実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。
【スポーツ教育専攻】
学校現場をはじめとして、体育・スポーツ実践に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するために、「スポーツ教育プログラム」及び「特別支援教育プログラム」を設け、当該分野におけるより高度な知識と技術とが体得できるよう関連科目を配する。
①スポーツ教育プログラム
スポーツ指導者や保健体育科教員に必要な基礎的知識と実践力を身に付けるため、体育学・スポーツ科学・健康科学に加え、教育学・体育科・保健科教育法、スポーツ実践指導法に関する科目を設ける。
②特別支援教育プログラム
保健体育科教員に加え、特別支援学校教員としての専門知識と実践力を身に付けるため、特別

支援教育に関わる総論と共に、免許領域（知的障害、肢体不自由、病弱）に関する科目を設ける。

健康学科

健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、健康学科共通科目を設ける。
【ウェルネスライフ専攻】
地域の幅広い年齢層を対象にした健康科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるために、ウェルネスライフ専攻共通科目を設ける。
①地域健康サポートプログラム
明るく健康長寿社会の実現に向けて、地域住民の健康で安心な生活を支えるために必要な専門的知識と実践力を身に付ける。地域に根差した健康と福祉の増進に関する「地域健康サポートプログラム科目」を設ける。
②健康ウェルネスプログラム
健康長寿時代における自他の身体作りをサポートするための専門的知識と実践力を身に付けるために、医科学及び指導法に関する「健康ウェルネスプログラム科目」を設ける。
【ヘルスプロモーション専攻】
学校現場をはじめとして人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するためのカリキュラムとして「身体教育プログラム」、「養護教諭プログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。
①身体教育プログラム
子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けるため、身体活動と保健教育に関する「身体教育プログラム科目」を設ける。
②養護教諭プログラム
子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた養護教諭に必要な専門的知識と実践力を身に付けるための「養護教諭プログラム科目」を設ける。

- サブプログラム
以上のほか、多様な社会や人材へ対応することを目的に以下のサブプログラムを配置する。
 - ◎アカデミックプログラム
 - ◎保健体育教諭養成プログラム
 - ◎アスレティック・トレーナー養成プログラム
 - ◎航空産業プログラム
 - ◎モータースポーツ産業プログラム
 - ◎留学生プログラム

教育方法

- 講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
- 科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。

学修の評価

- 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
- 学生自身が学修をふり返り、自己評価を行う機会を設ける。
- 卒業研究によって提出された論文または制作物等から4年間の学修成果を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

体育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- 世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の未来構想及び課題解決に関心のある人
- 体育とスポーツ文化並びに健康への関心をもち、体育・スポーツの発展に貢献しようとする人
- 他者と協調・協働し、課題解決や未来に向けて活動することに意欲を有している人
- 体育学部で学修する上で、中等教育などで身につけるべき基礎学力を有している人
- 体育・スポーツ・健康の専門的知見を基礎として、それらに関係する領域をはじめ広く社会で活躍したい人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツ文化学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツ文化学部では、大学の「教育目標」と本学が培ってきた伝統に基づき、我が国の体育・スポーツ界並びに来るべき社会を国際的にリードできる人材の育成を図るための独自の教育・研究プログラムを通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と、伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道並びに伝統芸能に関連した科学的な知識と技能を身に付けている。
- 武道並びに伝統芸能を通じて国際的に貢献するために必要な科学的な知識と技能を身に付けている。
- 日本の精神文化に立脚した体育・スポーツを通じた国際的な社会的課題の解決に必要な知識と技能を身に付けている。

汎用的能力

- スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切に課題を解決することができる。（課題解決力）
- スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて、適切なコミュニケーションを営むことができる。（コミュニケーション能力）
- 課題解決に必要な情報を収集、評価、活用できる。（情報収集力）

態度

- 主体性をもって多様な人々と協働し、スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて取り組もうとしている。
- 多様な他者の意見や思いを共感的に理解しようとしている。
- 生涯にわたり新しい知識やスキルを積極的に身に付けようとしている。
- スポーツの価値や礼節を尊重し、その実現に向けて責任をもって行動しようとしている。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
- 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- よき市民及び国際人として身に付けるべき基本的な素養としての社会人基礎力と調和の取れた人間力を形成するため、学部共通科目に「教養科目」を設け、基礎教養に関わる科目と言語コミュニケーション科目を置く。
- 体育・スポーツを通じて国際的な社会的課題を主体的に解決できる能力を育成するために、「総合科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツ文化研究A」、2年次に「スポーツ文化研究B」、3年次に「スポーツ文化研究C・D」、4年次に「スポーツ文化研究E・F」を必修とし、課題解決力、コミュニケーション能力、情報収集力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- スポーツ・健康科学並びにスポーツ指導の基礎的知識、技能、態度を修得するために、「基幹科目」、「展開科目」、「専門科目（体育実技）」を設ける。
- スポーツを通じた国際貢献の基幹となる知識、技能並びに態度を習得するために「学科基礎科目」を設ける。

- 武道教育学科
わが国固有の精神文化に立脚した体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- スポーツ国際学科
海外の体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能等を総合的に活用するために「学科専門科目」を設ける。
- 武道教育学科
武道教育、伝統芸能、体育指導などに関わる教養とスキルを向上させる科目を置く。
- スポーツ国際学科
スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などで今日の課題を実践的に解決する力を獲得するために、国際的な教養とスキルを向上させる科目を置く。

教育方法

- 講義、反転学習、ピア学習、課題探究型学習等を効果的に組み合わせることで、他者と双方向的に関わりながら主体的に学び、経験を積み姿勢、国や地域を越えて多様な価値観をもつ人たちとコミュニケーションができる機会を提供する。
- 課題探究型学習、フィールドワーク、収集したデータの協同的な分析、発表の機会を設定することで自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に対する興味関心を高める機会を提供する。
- 海外でのスポーツ文化交流や指導体験を通して、異文化理解を促進する機会を提供する。

学修の評価

- シラバスに示した評価規準に即して学修成果を評価する。
- 学修成果は、最終テスト並びに授業過程において実施する小テスト、レポート、発表、実技試験等を踏まえて評価していく。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- スポーツを通じた日本国内外の社会的課題の解決に関心のある人
- 体育・スポーツに関して、自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- 他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動することに意欲のある人
- 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人
- 多様な文化・価値観を学び、国・地域や国際社会で活躍したい人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

各学部が定める3つの方針

スポーツマネジメント学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

スポーツマネジメント学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（体育学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と専門分野（体育スポーツ学、スポーツマネジメント学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- ② 現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を有効に活用することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を推進し得る実践的なマネジメント力を身に付けている。

汎用的能力

- ① 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決のための方策を企画・実行することができる。（企画力、課題解決力）
- ② 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
- ③ 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
- ④ ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）

態度

- ① スポーツを事業として捉えてビジネスチャンスを見出す、ライフステージに応じたスポーツや運動プログラムを企画するなど、スポーツの新たな価値を創造する意欲を有している。（新たな価値の創造）
- ② 様々な立場の人と協調・協働し、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
- ③ 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感）
- ④ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
- ⑤ 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- ① 本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- ② 体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンプ実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外（野外）実習科目を設ける。
- ③ 多様性を受け容れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- ④ 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- ⑤ スポーツマネジメントにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「総合教育科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツマネジメント研究A」、2年次に「スポーツマネジメント研究B」、3・4年次に「スポーツマネジメント研究C・D・E・F」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑥ 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「基幹科目」と「展開科目」を設ける。
- ⑦ 専門分野の知識・技能を身に付け、社会の状況に応じた実践的マネジメント能力を高めるために、各学科に「学科基礎科目」と「学科専門科目」を設ける。

① スポーツマネジメント学科

スポーツに関係する組織や団体、企業等をマネジメントしたり、スポーツをビジネスと関連付けてマネジメントするための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営など様々なスポーツビジネスの実践現場に活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養い、新たな価値を生み出す意欲と態度を培うために、「学科専門科目」を設ける。

② スポーツライフマネジメント学科

多様な人々のスポーツライフをマネジメントし、現代社会の様々な課題を解決するための専門的な知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、部活動、地域スポーツ、まちづくり、健康づくりなどに関わる指導力とマネジメント力を向上させるための「学科専門科目」を設け、専門性の高い指導者を養成するためにアウトドアスポーツに関わる理論・実習、スポーツ・レクリエーションの実技、高齢者や障がい者のスポーツ指導に関する実技などの科目を配置する。

③ 多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

教育方法

- ① 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- ② 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

学修の評価

- ① 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、授業内で学生に周知する。
- ② 学修成果は定量的、定性的に評価する。
- ③ 「スポーツマネジメント研究E・F」での成果、提出された論文等から4年間の学修を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- ① スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについての知的好奇心の旺盛な人
- ② 体育スポーツ学、スポーツマネジメント学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- ③ 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動することに意欲を有している人
- ④ 国内外において体育・スポーツを推進し社会に貢献できるリーダーを目指す人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

児童スポーツ教育学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

児童スポーツ教育学部では、本学の「教育目標」に基づき、教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士（児童スポーツ教育学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と専門分野（教育学・保育学、体育・スポーツ科学）に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- ② 児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を身に付けている。

汎用的能力

- ① 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決することができる。（課題解決力）
- ② 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。（論理的思考力、表現力）
- ③ 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。（コミュニケーションスキル）
- ④ ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。（情報収集・活用能力）

態度

- ① 様々な立場の人と協調・協働し、教育学・保育学、体育・スポーツ科学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。（チームワーク、リーダーシップ、参画）
- ② 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。（共生、共感的態度）
- ③ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。（規範意識、倫理観）
- ④ 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。（自己理解、自己効力感、自律、生涯学習）

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

- ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、チームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、本学独自の「日体大総合科目」を設ける。
- ② 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- ③ 外国語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的とした「言語コミュニケーション科目」を2年次までに設ける。
- ④ 教育・保育、体育・スポーツにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」を設ける。この科目群では、初年次に「基礎ゼミナール」、2年次に「児童スポーツ教育演習」、3・4年次に「児童スポーツ教育研究」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑤ 教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「共通専門科目」を2年次までに設ける。
- ⑥ 専門分野の知識・技能を身に付け、児童（乳幼児を含む）の状況に応じた実践的指導力を高めるために、「スポーツ実技科目」と「コース専門科目」を設ける。
- ⑦ 児童スポーツ教育コース
初等教育に関する知識と指導力を身に付けるために、2・3年次を中心に「教育の基礎に関する科目」、「教科の内容と指導法に関する科目」、「中学校関連科目」を配置する。併せて、本コースの特徴である身体・健康・スポーツに関わる「発展・展開科目」を3年次までに設ける。

② 幼児教育保育コース

幼児教育・保育に関する知識と指導力を身に付けるために、1・2年次を中心に「教育・保育の基礎に関する科目」を設け、2年次を中心に「保育の内容と指導に関する科目」を各学年に配置する。併せて、幼児教育・保育の様々な分野に関する専門的知識と技術を身に付けるために、「発展・展開科目」を3年次以降に配置する。さらに、「教育・保育実習科目」を2年次から3年次までに段階的に配置する。

⑦ 教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

教育方法

- ① 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- ② 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

学修の評価

- ① 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、ルーブリックを作成し、授業内で学生に周知する。
- ② 学生自身が学修履歴を記録するポートフォリオを用意し、学修を振り返り、自己評価を行う機会を「児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目」の授業の中に設ける。
- ③ 「児童スポーツ教育研究」によって提出された論文・成果物等から4年間の学修を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- ① 教育・保育への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
- ② 教育学・保育学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- ③ 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をするに意欲のある人
- ④ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

保健医療学部が定める3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

【保健医療学部整復医療学科】

保健医療学部整復医療学科では本学の「教育目標」に基づき、整復医療学、医学・伝統医学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（整復医療学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と整復医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
- 整復医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。

汎用的能力

- 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
- ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
- 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）

態度

- 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
- 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、共感的態度）
- 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
- 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【保健医療学部整復医療学科】

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

1 学部共通教育課程

- 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
- 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
- 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
- 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「就職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。

2 学科専門教育課程

専門分野の知識・技能を体系的に身に付け、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。

- 1年次と2年次を中心に、人体の構造や機能を学ぶ科目や柔道整復学の基礎を学修する科目を設ける。
- 2年次から4年次にかけて、病理学や整形外科学等の現代医学に関する科目と発展的な柔道整復学やアスリートの外傷予防や治療、リハビリテーションについて学修する科目を設ける。
- ライフステージや健康状態、スポーツ活動等の特徴に応じた柔道整復の実践を身に付けるため、1年次から4年次にかけて学修段階に応じた臨床実習科目を設ける。
- 学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため整復医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。

教育方法

- 講義・演習：知識の定着と技術の正確性を高めるため、反復して学修することを重視する。また、アクティブラーニングを適宜行い、意見や解釈の多様性を理解する。
- 実習：参加型実習を重視する。倫理観、協調性、自己の役割と責任を認識し、主体的に行動できるよう促す。また、プレゼンテーションの場を適宜設定し、知識の整理と伝える力を養成する。
- 臨床実習：多様な患者ニーズに応えるための総合的な実習をスポーツ現場や接骨院などおこなう。

学修の評価

- 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
- 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等によりおこなう。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

【保健医療学部整復医療学科】

保健医療学部整復医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- 整復医療学への強い関心を持ち、これらの知識・技術をととして社会に貢献する意欲がある人
- 整復医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
- 自分の考えを論理的にまとめ、表現するためのコミュニケーション力を有する人
- 多様な人々と協調・協働し、主体的な学びや問題解決への取り組みに意欲がある人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

【保健医療学部救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科では本学の「教育目標」に基づき、救急医療・蘇生医療・災害医療、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士（救急医療学）」を授与する。

幅広い教養と専門分野の知識・技能

- 幅広い教養と救急・災害医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
- 救急医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。

汎用的能力

- 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。（課題発見力、問題解決力）
- ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。（情報リテラシー、論理的思考力）
- 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。（コミュニケーションスキル）

態度

- 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。（チームワーク、リーダーシップ）
- 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、利他の精神をもって思いやりのある態度を取ろうとしている。（共生、利他性、共感的態度）
- 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。（規範意識、社会的責任、倫理観、使命感）
- 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。（自己理解、自律、探究心）

【保健医療学部救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

教育課程の編成

1 学部共通教育課程

- 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
- 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
- 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
- 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「就職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。

2 学科専門教育課程

教育課程全体を通じて崇高な精神と高い倫理観を養い、専門分野の知識・技能を体系的に身に付けるとともに、幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を高めるための科目を以下のとおり設ける。

- 1年次に医療の基礎的な分野の知識を学び、実習では救護対応で必須の観察・判断・処置を学ぶ科目を設ける。また、医の倫理を学ぶために、解剖学に関する科目を設ける。
- 2年次からより専門的な分野の知識を学び、実習では救急救命処置に必須の知識と技術を学ぶ科目を設ける。
- 2・3年次には実際の現場においてより実践的に学ぶための病院内実習、救急車同乗実習等を設ける。また、災害医療の実践力を育成するために災害現場を想定した実習科目を設ける。
- 3・4年次には学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため救急医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
- 国際的な視野を身に付けるために、国際的な救急システムに関する科目を設ける。

教育方法

- 講義、演習、実技、実習を配置し、学修の充実を図る。特に演習、実習を充実させることで実践力を醸成する。
- 講義：インプットとアウトプット（レポート課題など）を両立させながら、知識の定着や論理的思考を養う。
- 演習・実習：医学的根拠を含めた知識の定着と技術の正確性を向上させるため、反復して修得することを重視する。
- 学生の習熟度に合わせてリメディアル教育を実践する。
- 科目特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を1年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

学修の評価

- 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
- 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等で評価する。
- 救急救命士国家試験における厚生労働大臣の指定する科目については、国家試験水準での点数評価を重視する。
- 学修到達度の確認には各科目での成績評価に加え、全ての科目においてルーブリックによる評価基準の可視化を実施する。さらに科目特性や必要に応じてポートフォリオによる学修者の省察を実施する。
- 専門知識と医療技術に関する実践能力は、OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験) で評価する。

【保健医療学部救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

求める学生像

- 救急・災害医療学への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
- 救急・災害医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
- 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をチームで実践できる人
- 国家資格である救急救命士を理解し、倫理観や責任感を有する人

入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

2025年度入試データ

※令和7年3月1日現在
（最終結果はホームページをご確認ください）

学科アイコン

体育 体育学科

健康 健康学科

武道 武道教育学科

国際 スポーツ国際学科

マネ スポーツマネジメント学科

ライフ スポーツライフマネジメント学科

児童 児童スポーツ教育コース

幼児 幼児教育保育コース

整復 整復医療学科

救急 救急医療学科

※単位：人（競争率は倍） ※競争率は受験者数÷合格者数で算出しています。 ※合格者数は、補欠線上合格者を含みます。

総合型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	トップアスリート方式10月	体育	89	45	89	45	89	45	88	44	88	44	86	44	1.01
		健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	89	45	89	45	89	45	88	44	88	44	86	44	1.01
	トップアスリート方式2月	体育	14	4	14	4	14	4	13	4	10	3	10	3	1.40
		健康	440	137	426	132					230	92	220	87	1.85
		計	103	75	101	73					94	69	93	69	1.07
	小論文方式	体育	543	212	527	205					324	161	313	156	1.63
		健康	143	29	143	29	33	12	33	12	22	7	22	7	6.50
		計	22	14	22	14	22	14	22	14	21	14	20	13	1.05
	プレゼンテーション方式	体育	165	43	165	43	55	26	55	26	43	21	42	20	3.84
スポーツ文化学部	実技方式	体育	68	19	64	19					15	6	14	6	4.27
		武道	14	3	14	3	12	2	12	2	10	2	10	2	1.40
		国際	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	1.00
	トップアスリート方式10月	計	16	3	16	3	14	2	14	2	12	2	12	2	1.33
		武道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	22	12	20	12					12	9	12	9	1.67
	トップアスリート方式2月	武道	32	12	32	12					31	12	31	12	1.03
		国際	54	24	52	24					43	21	43	21	1.21
		計	10	4	10	4	10	4	9	3	8	3	8	3	1.25
	プレゼンテーション方式	国際	8	5	8	5	8	5	8	5	4	2	4	2	2.00
スポーツマネジメント学部	トップアスリート方式10月	ライフ	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00
		計	9	5	9	5	9	5	9	5	5	2	5	2	1.80
	小論文方式	マネ	211	67	207	66					72	43	71	43	2.88
		ライフ	53	20	53	20					41	17	41	17	1.29
		計	264	87	260	86					113	60	112	60	2.30
	プレゼンテーション方式	マネ	64	14	64	14	12	3	12	3	4	2	4	2	16.00
		ライフ	18	4	18	4	9	3	9	3	3	3	3	3	6.00
		計	82	18	82	18	21	6	21	6	7	5	7	5	11.71
	小論文方式	児童	72	35	68	35					64	35	64	35	1.06
		幼児	28	24	28	24					17	17	17	17	1.65
児童スポーツ教育学部	小論文方式	計	100	59	96	59					81	52	81	52	1.19
	プレゼンテーション方式	児童	10	4	10	4	5	1	5	1	2	0	2	0	5.00
		幼児	9	4	9	4	7	4	7	4	3	2	3	2	3.00
		計	19	8	19	8	12	5	12	5	5	2	5	2	3.80
	小論文方式	整復	147	60	143	58					44	26	44	26	3.25
		救急	100	25	99	25					60	21	60	21	1.65
		計	247	85	242	83					104	47	104	47	2.33
	プレゼンテーション方式	整復	36	12	36	12	8	3	7	2	3	2	3	2	12.00
		救急	27	4	27	4	9	3	9	3	2	2	2	2	13.50
		計	63	16	63	16	17	6	16	5	5	4	5	4	12.60

学校推薦型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	指定校推薦	体育	130	38	130	38					130	38	130	38	1.00
		健康	49	29	49	29					49	29	49	29	1.00
		計	179	67	179	67					179	67	179	67	1.00
	スポーツ推薦	体育	358	108	358	108	347	108	346	107	345	107	345	107	1.04
		健康	23	16	23	16	23	16	23	16	23	16	23	16	1.00
		計	381	124	381	124	370	124	369	123	368	123	368	123	1.04
スポーツ文化学部	指定校推薦	武道	15	3	15	3					15	3	15	3	1.00
		国際	31	11	31	11					31	11	30	11	1.00
		計	46	14	46	14					46	14	45	14	1.00
	スポーツ推薦	武道	56	12	56	12	56	12	56	12	56	12	56	12	1.00
		国際	16	4	16	4	16	4	16	4	16	4	16	4	1.00
		計	72	16	72	16	72	16	72	16	72	16	72	16	1.00
一般推薦	国際	17	3	17	3					3	2	3	2	5.67	
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント推薦	マネ	39	8	39	8	11	4	11	4	2	2	2	2	19.50
		ライフ	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2.00
		計	41	8	41	8	12	4	12	4	3	2	3	2	13.67
	指定校推薦	マネ	109	24	109	24					109	24	109	24	1.00
		ライフ	35	13	35	13					35	13	34	12	1.00
		計	144	37	144	37					144	37	143	36	1.00
スポーツ推薦	マネ	63	18	63	18	59	16	59	16	59	16	59	16	1.07	
	ライフ	32	7	32	7	31	7	31	7	31	7	31	7	1.03	
	計	95	25	95	25	90	23	90	23	90	23	90	23	1.06	
一般推薦	マネ	29	6	29	6					1	0	1	0	29.00	
	ライフ	15	5	14	5					2	2	2	2	7.00	
	計	44	11	43	11					3	2	3	2	14.33	
児童スポーツ教育学部	指定校推薦	児童	49	25	49	25					49	25	49	25	1.00
		幼児	33	27	33	27					33	27	33	27	1.00
		計	82	52	82	52					82	52	82	52	1.00
	スポーツ推薦	児童	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	1.00
		幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	1.00
一般推薦	児童	10	4	10	4					1	1	1	1	10.00	
	幼児	4	1	4	1					0	0	0	0	0.00	
	計	14	5	14	5					1	1	1	1	14.00	
保健医療学部	指定校推薦	整復	43	16	43	16					43	16	43	16	1.00
		救急	22	6	22	6					22	6	22	6	1.00
		計	65	22	65	22					65	22	65	22	1.00
	スポーツ推薦	整復	5	3	5	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2.50
		救急	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.00
		計	6	3	6	3	4	2	4	2	2	2	2	2	3.00
一般推薦	整復	23	6	23	6					2	2	2	2	11.50	
	救急	9	1	9	1					1	0	1	0	9.00	
	計	32	7	32	7					3	2	3	2	10.67	

※単位:人(競争率は倍) ※競争率は受験者数÷合格者数で算出しています。 ※合格者数は、補欠線上合格者を含みます。

一般選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	A日程	体育	248	65	241	62	40	18	18	8	6.03
		健康	59	19	58	19	31	15	14	5	1.87
		計	307	84	299	81	71	33	32	13	4.21
	B日程	体育	97	25	92	25	25	11	13	5	3.68
		健康	23	13	22	13	13	8	8	5	1.69
		計	120	38	114	38	38	19	21	10	3.00
大学入学共通テスト利用方式		体育	136	43	136	43	9	5	0	0	15.11
		健康	36	18	35	18	7	3	1	1	5.00
		計	172	61	171	61	16	8	1	1	10.69
スポーツ文化学部	A日程	国際	124	22	124	22	3	2	1	1	41.33
	B日程	武道	2	0	2	0	1	0	1	0	2.00
		国際	29	9	28	9	1	1	0	0	28.00
		計	31	9	30	9	2	1	1	0	15.00
	大学入学共通テスト利用方式	武道	1	1	1	1	1	1	0	0	1.00
		国際	38	15	38	15	5	2	1	1	7.60
マンネンライフマネジメント学部	A日程	マネ	133	33	128	32	2	2	0	0	64.00
	B日程	ライフ	46	14	44	13	2	1	1	0	22.00
		計	179	47	172	45	4	3	1	0	43.00
	大学入学共通テスト利用方式	マネ	85	25	84	25	7	3	0	0	12.00
		ライフ	27	16	27	16	2	1	0	0	13.50
		計	112	41	111	41	9	4	0	0	12.33
児童スポーツ教育学部	A日程	児童	29	14	29	14	1	1	1	1	29.00
	B日程	児童	20	8	19	7	2	0	2	0	9.50
		幼児	2	1	2	1	1	1	1	1	2.00
		計	22	9	21	8	3	1	3	1	7.00
	大学入学共通テスト利用方式	児童	27	13	27	13	1	1	0	0	27.00
		幼児	6	6	6	6	2	2	0	0	3.00
保健医療学部	A日程	整復	15	3	15	3	1	1	1	1	15.00
	B日程	救急	20	3	20	3	2	0	1	0	10.00
		計	35	6	35	6	3	1	2	1	11.67
	大学入学共通テスト利用方式	整復	11	5	11	5	2	2	0	0	5.50
		救急	6	3	6	3	1	1	0	0	6.00
		計	17	8	17	8	3	3	0	0	5.67

特別選抜

選抜区分	学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		競争率
		合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
外国人留学生選抜	体育	10	0	10	0	2	0	2	0	5.00
	健康	2	0	2	0	1	0	1	0	2.00
	国際	1	0	1	0	0	0	0	0	0.00
	マネ	4	0	4	0	1	0	1	0	4.00
	国際	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00
※志願のあった特別選抜の学科のみ記載。										

※令和7年3月1日現在

一般選抜合格者 学科・コース別平均点

A日程 ※A日程及びB日程の英語の点数については英語外部試験結果の加点は含みません。

科 目	学部/学科 コース		体育学部		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
			体育	健康	国際	マネ	ライフ	児童	整復	救急		
国語			71.3	64.0	78.0	86.0	71.5	87.0	87.0	68.0		
英語			77.4	59.5	76.7	72.0	77.0	68.0	86.0	62.0		
合計			148.7	123.5	154.7	158.0	148.5	155.0	173.0	130.0		

科 目	学部/学科 コース		体育学部		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
			体育	健康	武道	国際	マネ	ライフ	児童	幼児	整復	救急
国語			82.8	83.5	80.0	90.0	95.0	70.0	82.5	80.0	95.0	70.0
英語			63.9	51.8	43.0	70.0	62.7	50.0	60.5	42.0	63.0	43.0
合計			146.7	135.3	123.0	160.0	157.7	120.0	143.0	122.0	158.0	113.0

大学入学共通テスト利用方式 ※大学入学共通テスト利用方式の『国語』は110点を100点換算した点数です。

科 目	学部/学科 コース		体育学部		スポーツ文化学部		スポーツマネジメント学部		児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
			体育	健康	武道	国際	マネ	ライフ	児童	幼児	整復	救急
国語			82.1	82.0	74.6	81.1	82.1	85.0	79.1	57.7	78.6	80.9
英語			80.4	77.7	70.0	73.2	82.6	78.5	83.0	67.0	70.5	45.0
選択科目			85.4	81.9	75.0	76.0	75.9	89.5	84.0	63.0	75.5	60.0
合計			247.9	241.6	219.6	230.3	240.6	253.0	246.1	187.7	224.6	185.9

総合型選抜 実技方式 歴代最高記録

各種目 最高記録	男子	50m走	立ち5段跳び	メディシンボール投げ	3コーンドリル
		6.06秒	15m40cm	15m23cm	6.44秒
	女子	6.87秒	11m60cm	9m54cm	7.36秒



■ オープンキャンパス2025

[開催時間] 10:30～15:00(受付開始 10:00～) 予定
※開催日時は追加・変更になる場合があります。



東京・
世田谷キャンパス

6/8 日

8/9 土 10 日 11 月 祝

12/21 日



横浜・
健志台キャンパス

7/19 土 20 日

9/7 日

2026 3/22 日

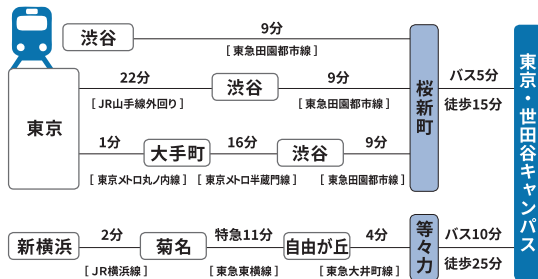
■ 進学相談会

各地で開催される進学相談会については
本学HPよりご確認ください。



■ 入学者選抜会場

東京・世田谷キャンパス



東急田園都市線「桜新町」駅より、徒歩15分またはバス5分

①「目黒駅前」行、②「都立大学駅北口」行 いずれも「日本体育大学前」にて下車

東急大井町線「等々力」駅より、徒歩25分またはバス10分

③「成城学園前」行、「日本体育大学前」にて下車

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL:03-5706-0900(代) / FAX:03-5706-0823

一般選抜 サテライト会場

一般選抜(A日程・B日程)において、本学会場(東京・世田谷キャンパス)と併せて、サテライト会場を設けます。試験は本学会場及びサテライト会場ともに同日程、同時刻に実施します。どの試験会場で受験しても、可否に影響は一切ありませんので最寄りの試験会場で受験してください。

札幌会場

アスティ45

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目

大阪会場

AP大阪梅田東 日本生命梅田ビル

〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3

高崎会場

エテルナ高崎

〒370-0841 群馬県高崎市栄町22-30

名古屋会場

名城大学 天白キャンパス

〒466-8502 愛知県名古屋市中白区塩釜口1-501

入学願書の入手方法

2026年度 日本体育大学 学生募集要項 無料



総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

(大学入学共通テスト利用方式含む)

特別選抜

7月中旬頃、日本体育大学ホームページ上に
掲載予定。 <https://www.nittai.ac.jp>

12月上旬頃、日本体育大学ホーム
ページ上に掲載予定。
<https://www.nittai.ac.jp>

7月中旬頃、日本体育大学ホーム
ページ上に掲載予定。
<https://www.nittai.ac.jp>



日本体育大学
Nippon Sport Science University

入学者選抜に関するお問い合わせ先
アドミッションセンター
E-mail: nyushi2025@nittai.ac.jp

東京・世田谷キャンパス
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
Tel: 03-5706-0910 Fax: 03-5706-0819

日体大

検索

<https://www.nittai.ac.jp>